筑西市立中央図書館 図書館だより No.366 令和5年(2023)



12月28日(木)~1月4日(木)まで筑西市内の図書館(中央・明野・関城・協和)は全館休館となります。休館中の本や雑誌、紙芝居のご返却は中央図書館、または明野図書館の返却口(ブックポスト)をご利用下さい。

ただし、視聴覚資料(CD・DVD等)や市外から借り受けた資料(相互貸借の資料)、大型絵本等は破損の恐れがあるので、必ずカウンターにご返却下さい。

本・視聴覚資料の貸出期間が1週間延長となります。

資料の種類	貸出日	貸出期間
本•雑誌•紙芝居	12月14日~12月27日	2週間 → 3週間
視聴覚資料(CD • DVD)	12月21日~12月27日	1 週間 → 2 週間

わくわく図書館 DAY

『おはなし会&スノードームを作ろう!』

日 時:12月17日(日)午前11時~

場 所:中央図書館 創作室 対 象:小学生8人(先着順)

参加費:200円

※12月2日(土)よりカウンターもしくは電話にて受付を開始致します。



今月のおはなし会

6日(水)午前11時~ 赤ちゃん向けよみきかせ

16日(土)午後2時~ 野ばらの会よみきかせ

17日(日)午後2時~ あすなろの会よみきかせ(クリスマスの集い)

20日(水)午前11時~ 図書館スタッフのよみきかせ

24日(日)午後2時~ やまびこ「クリスマスのおはなし会」



今月の映画会

『サンタ・カンパニー ~クリスマスの秘密~』(2020 年制作・アニメーション映画) 内容紹介

ノエルはクリスマスが大嫌い。両親は離婚し、一緒に住む父親も仕事に大忙し。友達も遊んでくれず、 今年もひとりぼっちかと憂鬱な気持ちで家に帰ると、なぜかそこには「サンタ・カンパニー」という。 名の会社が広がっていました。

日時: 12月23日(土) 午後2時~ (65分)

場所:中央図書館 視聴覚室

入場無料 • 申込不要





ポインセチア



クリスマスのシーズンになると花屋さんに並ぶこの植物は、意外にもメキシコが原産である。山地原産の「ユーフォルビア・プリゲリマ」という植物を改良して作られたものである。メキシコでは「Nochebuena」(ノチェブエナ)と呼ばれている。「聖なる夜」と言う意味でやはりクリスマスにお似合いの名前だ。トウダイグサ科トウダイグサ属で和名は「猩々木(しょうじょうぼく)」という。大酒飲みの赤い顔が特徴の、伝説上の動物である猩々に似ていることから名付けられたそうだ。明治時代に伝わったが今日までほぼ使用されていない。

クリスマスカラーと呼ばれる赤は「キリストの流した血の色」、緑は「永遠の命や愛」、白は「純潔」を表し、ポインセチアの葉が赤と緑、樹液が白、とクリスマスを体現している。また花や苞(ほう)の形がベツレヘムの星を連想させることや「聖夜」という花言葉を持っていることからもクリスマスの花と言われている。ポインセチアの赤い部分は花ではなく、苞で中央の黄色く見えるのが花である。花びらは存在しないので、香りはしない。アステカ時代の頃には生贄を神に捧げる儀式にポインセチアを飾っていたそうだ。また服を染める染料として使用したり、白い樹液を解熱剤としての利用もあったそうだ。アステカの言葉で「星の花」と呼ばれ純潔さの象徴とされた。今も昔も神聖なものとされていたのだろう。

ポインセチアという名はアメリカの初代メキシコ大使であるポインセット氏の名前に由来している。彼は帰国の際にメキシコで自生していたポインセチアを持ち帰り普及させたそうだ。たった一人の思い付きが世界規模に広まっていくとは誰も予想しなかっただろう。

このようにクリスマスの花として人々から愛されているポインセチアだが、株全体に「フォルボールエステル」という有毒成分が含まれている。白い樹液に触ると皮膚炎や水泡を引き起こし、葉を食べると下痢や嘔吐の症状が出る。少量であれば大丈夫だが、家にペットや子どものいる家庭では注意が必要である。 聖なるもの、触れてはいけないものだからこそ、手を出してはいけないという事なのか。

皆様、取り扱いにはくれぐれもご注意を!

12月の休館日

12月4日、11日、18日、25日(すべて月曜日) 12月28日(木)~1月4日(木)

筑西市立中央図書館

〒308-0826 茨城県筑西市下岡崎 1-11-1

Tel: 0296-24-3530

ホームページ https://library-city-chikusei.jp

返し忘れた本はありませんか?

大掃除で見つけた図書館の本はありませんか?もし見つけたら図書館への返却をお願いします。図書館の資料は筑西市の大切な財産です。図書館は皆さまの優しさで出来ています。どうぞ、ご協力をお願い致します。